

## 卒後 50 年記念同期会、4 組二次会レポート！

「九人の侍と紅一点が」

滝沢克俊（4 組）

4 組の二次会は袋町から横町へ出てすぐの高級割烹「わらべ」にて。ご両親の介護でこれまでの親不孝のリカバリーに励む山辺は同期会のみにて欠席なるも、以下の 10 名が集結。

- =浅倉: 4 組のみんなが話もしないように努めていた 11 組の羽田さん！  
うちにだっているんです。医学 & 農学博士！
- =井出: 長和町にて地元物産店経営。山椒も小粒のナイスガイ。
- =関森: いまだに 4 組の一員だったことを認識できておらず、ハンドボール組だったと信じ込んでいる。ますます眼が細くなっていない？
- =瀧沢(政): ゴルフの腕前は同期屈指なるも、寄る年波のせいか最近はやの調子が心配。くれぐれも労わりつつ、愛車の運転もご注意を！。
- =中村: かつての座布団回しの天才が、信州ハムの社長を 10 年！人生は本当に分からないものですが、長い間お疲れ様でした。
- =成澤: 埼玉県在住同期を中心とする「蕨の会」を主宰。一見、今回のメンバーの中では一番真面目に見えます。
- =増澤(旧姓小林)啓子: 賢一君に牙を抜かれてスッカリ大人しくなった分だけ、ますますキレイになったと巷で評判。
- =丸山: 少し前まで関東同窓会幹事長の激務をこなしながらゴルフに励む。親分肌は健在。
- =若柳: 牧師さんの息子とは思うぬ俗っぽさを残しながらテニスに勤しむ。キラキラした瞳が印象的。
- =滝沢(克): 老老介護の隙間をぬっての温泉巡りもあと何年出来ることやら。

あの田中菊さんに「出来ねIのが分かってて、オメエに当てた俺が悪かった！」「才寝(ヤ)スミ中恐れ入りますが、後ろへ行って立っていただけますか」等々、慈愛に満ちた叱咤激励の言葉に全く反応せず、決して褒められることのなかった面々ながら、大していじけずこの歳に至り、何故か菊さんが無性に恋しい 10 人でした。今回の同期会に出席いただいた皆さん、そして三次会でお会いした幾つかのクラスのヘロヘロ酔っ払い諸氏、有難うございました。

またお会いしましょう！

(16 年 9 月 26 日記、敬称略)

【写真 1:同期会で 4 組のテーブルで(後列左から 4 人目が筆者)】



【写真 2: 4 組二次会の様子(浅倉君提供)】



【写真3: 4組の寄せ書き】

